

自治体庁舎に停電対応型GHP導入

行政機能維持へLPガスで災害対策

和歌山県紀美野町役場本庁舎・中央公民館 (和歌山県海草郡紀美野町)

冷暖房は電気・重油からLPガスに

和歌山県紀美野町は2017年12月、本庁舎と隣接する中央公民館にLPガス災害バルク貯槽を導入した。また、空調設備の更新に合わせてGHP計18台を採用、うち6台を停電対応機とした。停電時にGHPの自立発電で、行政機能の維持に努める。

これまで町内の公立病院などでGHPを採用した経緯があり、GHPのコストや機能、防災面の優位性を評価していた。従来の空調は電気と重油ボイラーを使っていたが、LPガスに転換した。

ユーザーの声



紀美野町
町長

寺本 光嘉 さん

設置機器

- ・災害バルク貯槽 (3t)
- ・GHP (計18台・368馬力、
うち電源自立型計6台・120馬力)
- ・ガスコンロ×7台
- ・ガスオーブンレンジ×7台
- ・ガス炊飯器×2台 (自ら購入済み)

LPガス設備で災害時に 庁舎機能を迅速稼働

災害発生時には、庁舎機能が迅速に稼働することが最優先です。

本庁舎は災害対策本部、公民館は二次避難所としても機能します。停電で復旧に時間を要した場合、災害対策本部の立ち上げが遅れることも想定され、本部が機能不全に陥ればその後の復旧活動に支障をきたします。こうした災害時の対応を考慮し、今回、LPガス災害バルク貯槽と電源自立型GHPを採用しました。



紀美野町役場本庁舎



電源自立型 GHP
(中央公民館)



災害バルク貯槽
(本庁舎と中央公民館)